

2026年7月1日

第39回児童ミニバスケットボール交流大会代表者会議

林 但

標記は来る7月12日(日)に横須賀総合体育会館(アリーナとサブアリーナ)で、行われる同大会の代表者による会議である。主催は横須賀市で、スポーツ推進委員協議会は主管である。また、横須賀市ミニバスケットボール連盟の協力を得て行う。今回は18チームで、10チームが連盟に加入、8チームが地域リーグ?の方である。

代表者会議では、従来からの変更点やルールの説明を行った。また、協議会からは、**インテグリティとは「誠実」「真摯」「高潔」を意味し、個人や組織が倫理的に自律的に行動する姿勢を指して欲しいと要望した。**諸事情により、今回も代表者の出席は5名であった。主管側の思いが伝わらない場面も散見され、コーチなどによる児童への暴言に近い言葉の方が昨年はあった。また、指導者の各種研修会などに参加の方も3名と少ない。開会式でもう一度指導者の方には行動変革をお願いする予定でいます。

<従来からの変更点> ・スポーツ振興課、横須賀ミニバスケットボール連盟から主な内容は

- ① 今年から看護師は常駐しない。
- ② 熱中症対策として、メディカルタイムアウト(給水タイム)の導入・第3クォーターの半分が経過した時点で30秒間とする。

<インテグリティに関連して> ・横須賀ミニバスケットボール連盟、協議会

- ① ゲーム中のコーチによるプレーヤーへの暴言・暴力的行為に対する対応方針(ガイドライン)バスケットボール連盟資料から抽出、説明
- ② 「スポーツ指導とアンガーマネジメントテクニック」受講の記録と実行のお願い。

*私はいさつの中で確認したら、児童には楽しさを知っていただくことを重視、勝利は次と代表者会議の方の声であった。「**選手第一で指導**」していただいていると思っています。



代表者会議の会場の風景